

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
【発行日】平成 17 年 1 月 20 日 (2005.1.20)

【公開番号】特開 2001-204703 (P2001-204703A)  
【公開日】平成 13 年 7 月 31 日 (2001.7.31)  
【出願番号】特願 2000-20712 (P2000-20712)  
【国際特許分類第 7 版】  
A 6 1 B 5/05  
【F I】  
A 6 1 B 5/05 B

【手続補正書】  
【提出日】平成 16 年 2 月 23 日 (2004.2.23)  
【手続補正 1】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】特許請求の範囲  
【補正方法】変更  
【補正の内容】  
【特許請求の範囲】  
【請求項 1】

グラフ表示可能な表示画面を備えた生体測定装置において、前記表示画面は、ブロックを縦横に配列し、横軸が時系列、縦軸が測定量を表し、各時系が測定量を示す場合には、ひとつのブロックが表示することを特徴とするグラフ表示機能付き生体測定装置。

【請求項 2】  
前記時系列の各列において前記測定量を示す場合には、前記各列に縦配列するブロックのうちのひとつだけを表示することを特徴とする請求項 1 記載のグラフ表示機能付き生体測定装置。

【請求項 3】  
前記ブロックは、横長であることを特徴とする請求項 1 又は 2 記載のグラフ表示機能付き生体測定装置。

【請求項 4】  
前記ブロックは、種類の異なる時系列区間ごとに形状や大きさが異なることを特徴とする請求項 1 乃至 3 いずれか記載のグラフ表示機能付き生体測定装置。

【請求項 5】  
前記表示画面は更に、測定量が表示可能範囲外となったときのブロックの表示が、表示可能範囲内であるときの表示と異なることを特徴とする請求項 1 乃至 4 いずれか記載のグラフ表示機能付き生体測定装置。

【請求項 6】  
前記表示画面は更に、測定量の最大と最小の範囲の切り替わりに応じた測定量の一目盛の量を表示することを特徴とする請求項 1 乃至 5 いずれか記載のグラフ表示機能付き生体測定装置。

【請求項 7】  
前記表示画面は、記録されている過去の計測データの最大と最小の差に応じて前記縦軸の測定量の一目盛の量が自動的に切替わることを特徴とする請求項 6 記載のグラフ表示機能付き生体測定装置。

【請求項 8】  
前記表示画面は、更に、前記グラフの前記縦軸の測定量の一目盛の量の自動的な切替わりに応じて、前記グラフの前記縦軸の測定量の一目盛の量を数値表示することを特徴とする請求項 7 記載のグラフ表示機能付き生体測定装置。

**【請求項 9】**

使用者が計測データを記録として取得可否の判断をするための取得判断手段を更に設け、前記グラフ表示は、今回の計測データと前記取得判断手段で取得可の判断をした過去の計測データに基づくものであり、前記表示画面は、前記時系列の各列において必ず前記測定量を示すブロックを表示することを特徴とする請求項 2 記載のグラフ表示機能付き生体測定装置。

**【請求項 10】**

使用者が計測データを記録として取得する時間帯を設定するための取得時間設定手段を更に設け、前記表示画面のグラフは、前記取得時間設定手段で取得した計測データに基づくものであり、前記時系列の各列において必ず前記測定量を示すブロックを表示することを特徴とする請求項 2 記載のグラフ表示機能付き生体測定装置。

**【請求項 11】**

グラフ表示可能な表示画面を備えた生体測定装置において、計測データを記録として取得可否の判断をするための取得判断手段を設けたことを特徴とするグラフ表示機能付き生体測定装置。

**【請求項 12】**

複数の人数分を登録し記録できる場合には、間違っ自分以外の者の登録モードで計測したことを報知する報知手段を設けたことを特徴とする請求項 11 記載のグラフ表示機能付き生体測定装置。

**【請求項 13】**

グラフ表示可能な表示画面を備えた生体測定装置において、計測データを記録として取得する時間帯を設定するための取得時間設定手段を設けたことを特徴とするグラフ表示機能付き生体測定装置。